

み
あ
さ
づ
く
り



30年ぶりの復活

日向組神楽囃子

コロナ禍ではありますが、今年も青具神明社、千見神明宮で例大祭が開かれました。限られた人数でしたが、今年も無事に獅子舞を奉納させていただきました。昨年復活させたばかりなので、なんとか2年目を迎えられてホッとしました。協力して頂いた皆様、ありがとうございました。

今回、神楽に関わっていく中で見えてきた地域性があります。その昔小川村の神楽が千見に伝わり、それが青具へと伝わってきたようです。千見で神楽が続いていたおかげで私たちは獅子舞を復活させることができました。当たり前のことですが、お隣の地域があっ

てこそ地の域が成り立っている事を実感しています。笛の師匠をはじめ、神楽を引き継いでくださった方々にこの場をお借りして感謝申し上げます。昨年は青具若連を立ち上げた方や引き継いできた先輩、自分の祖父への想いが大きかったのですが、今年は千見や小川へと想いが広がりました。

神楽が衰えていったのは60年ほど前からと聞いています。今後は獅子舞が地域を見直すきっかけになっていくと嬉しいです。 北沢和也

78

2020. 11



facebook



ホームページ美麻Wiki

先進地視察研修報告

美麻地区で検討している「小さな拠点」の活動の参考となる事例の視察研修を行いました。

先進地視察研修 in 大町（9/18）

■視察のポイント

- ・地域で増加している空き家への対策
- ・地域資源の活用

古民家や古材に興味があって美麻に引越ししてきた事もあり、山翠舎さんの倉庫の前まで行ってみれば引き返したりしていました。今回見学させて頂けると聞いて喜んで向かいました。

実際に倉庫から見上げる古木の山は圧倒的な迫力があり、静謐な雰囲気でありながら一体となっている木工所の作業音と相まって不思議な

活気を帯びていました。

倉庫四階の内窓から壮観な古木の山を見下ろしていたら、ふと二十年以上前に野ざらしの古材の山を上り下りした時の事を思い出しました。その時はある集会室の床柱用の古材を探していたのですが、夕暮れで小雨も降っていて大層心細いものでした。

それに比べると隔世の感があり、一本一本番号管理されたトレーサビリティシステムや、様々な取組みで広がっている古木の今後に大きな可能性を感じた1日となりました。

（二重 中島香文）



先進地視察研修 in 豊丘（9/18）

■視察のポイント

- ・道の駅を活用した小さな拠点
- ・小さな拠点税制を活用した
住民出資の株式会社の設立と運営

下伊那郡豊丘村に2018年にオープンした道の駅「豊丘マルシェ」へ視察に行ってきました。豊丘マルシェは、豊丘村と設立代表者10名、企業、村民の出資で運営されている道の駅です。

スーパーマーケット、農産物直売所、農産物加工場、レストランなどが併設されており、村営バスや買い物バス、福祉バスなどの拠点にもなっています。小さな拠点としての機能を有しており、村民の出資に際しては、小さな拠点での税制優遇制度を利用しています。このような点を管理者の方にご説明いただき学ばせていただきました。当日は平日にもかかわらずとても来場者が多く地域に愛されている場所であることがわかりました。（前川浩一）



《地域の話》



コロナに負けるな 源流美麻太鼓がテレビ出演

私達の健康や生活を脅かす新型コロナウイルスは源流美麻太鼓の活動にも大きな影響を与えました。3ヶ月に及び練習中止、再開後も出演依頼は軒並みキャンセル、ジュニアコンクールも延期に次ぐ延期。

何とか子供達のモチベーションを上げる方法を模索していたところに保護者会長の早川さんの持ち込んだ企画はなんとテレビ出演！

コロナ禍で活躍の場を失ったサークルや部活動を応援するSBC「夢テレビ」への応募です。まぐれを信じて応募した結果、見事選考に通り取材を受ける事になりました。

8月4日取材に訪れたのはお笑い芸人の「トレ

ンディエンジェル」のお二人！まさかの売れっ子芸人の登場に皆ビックリ！

一緒に太鼓を打ったりコンクール優勝に向けてエールも送っていただいてひと夏の最高の思い出になりました。10月11日の放送日もテレビ電話での中継がありお二人との再会を楽しみました。現在私達は「暁」と言う新曲に挑んでいます。今は暗い世の中でも決して明けない夜は無い！そんな気持ちを込めていつかまた地域の皆さんの前で演奏が出来る日が来る事を願い練習に打ち込んでいます。

源流美麻太鼓の会 保科充志



大賞目指して7年ぶりに応募

abn・八十二第20回ふるさとCM大賞NAGANOに応募しました。

今回、20回目を迎えるCM大賞に美麻地域づくり会議で応募をしました。魅力的な地域の情報を撮影、編集をして30秒間にまとめ放送します。二重湯の海の稲沢博さんを中心に制作したCMの題材は、地域で増加している「有害鳥獣対策」の中で「サル対策」にスポットを当てた作品としました。

サル対策に有効な、大町市が発祥の「モンキー犬」を知ってもらう内容となっています。

30秒はかなり短い時間でどうやったら見栄えがするのか、苦労を重ねた作品は、12月までの間に長野朝日放送の「今ドキ！ゆうドキ！」

毎週月～金曜、午後4：32～4：40放送時間中に流れますのでご覧ください。



《コミュニティ・スクールのお話》

美麻小中学校 梨の木祭開催



「カラフル～笑顔がつなく最高の物語～」をテーマに10月2日（金）・3日（土）の2日間、「第33回梨の木祭」を開催しました。今回は、コロナ禍の影響で、来校者を制限しての開催でしたので、多くの皆様に観ていただくことができませんでしたが、心苦しく思います。しかし、子どもたちは、様々な条件を克服しながら、精一杯の「梨の木祭」を企画し、運営しました。その姿や、子どもたちの思いをお読みいただければ幸いです。



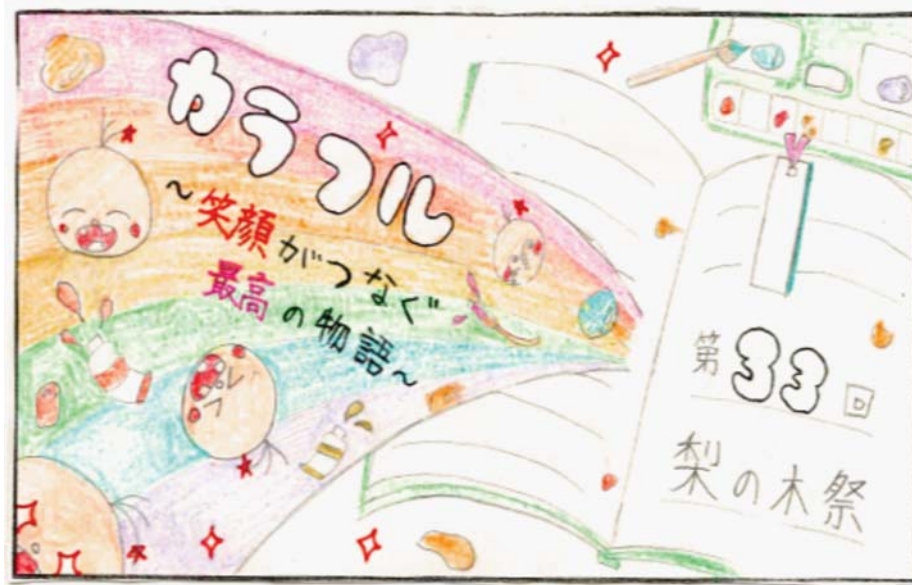
・なしの木祭で1番楽しかったのは、へいさいしきでした。音楽会はぜんぜん上手にできませんでした。トランペットもれんしゅうよりガラガラの音でした。なわとびではれんしゅうのさいこう回数が152回だったのでくひょう回数を160回にしたら80回しかとべませんでした。1番がんばったのはトランペットでした。トランペットはさいしょ、まったくできないじょうたいからはじめたのに、あそこまでふけるようになったからです。なわとびはほかの人ががんばっていると思いました。
(4年 田澤 時澄さん)

今日は梨の木祭1日目です。私が特に楽しかったのが、「縄跳びギネス」と「運動会」です。「縄跳びギネス」では、一番でとてもきんちょうしたけど、みんなで一致団結して、練習よりは少し少なかったけれど、103回跳んで、3位を取れました。
「運動会」は今年初めて竹引きで赤に一回勝てました。リレーも練習通り一位を取ることができました。合計得点で赤に負けちゃったけど、楽しかったです。明日もがんばりたいです。
(5年 齋藤 咲和さん)

子どもたちの感想

- ・きょう、がっこうで うんどうかいでまけたのが くやしかった。けど、らいねんは かつのが ねらいだからね。
(1年 重田 青さん)
- ・きょう、がっこうで たまいれだんすを がんばりました。あかぐみが いっぱいいれました。たのしかったです。
(1年 池谷 橙季さん)
- ・きょう、がっこうで、うんどうかいを やりました。たまいれで あかぐみが かちました。けっかはっぴょうで、あかぐみが ゆうしょうしました。とてもうれしくて すごく たのしかったです。
(1年 赤坂 隆至さん)
- ・さいごにみんなでそろえられてよかった。来年の梨の木祭は音楽会でいみ(やっていること)を発表してみんなに伝えて、感動、楽しさ、元気を伝えていきたいです。
(2年 田中 大智さん)
- ・音楽会でドラムをまちがえないでできたからよかった。1年生から9年生のうたがすごかった。来年は全校でうたを頑張りたいし、合奏もがんばりたい。
(2年 川西 陽翔さん)
- ・音楽会でじゅんばんがきたとき、笑顔でやれてよかったし、ピアノをじょうずにできてよかったし、一番最後のうたっ

- ておどるやつが一番たのしかったです。
(2年 青山 心晴さん)
- ・梨の木祭1日目、運送会で赤組に勝てよかったです。赤組でよかったと思いました。音楽会は5年生の合奏がぼくの好きな曲で、よかった！
(2年 川西 朝陽さん)
- ・すこしステージに上るときんちょうしたけど、やっているうちにはすかしくなりました。来年はもうすこし大きな声を出したらもっとよくなると思うから、大きな声を出す！
(2年 早川 侑希さん)
- ・9年生が頑張っていてすごいし、ちかなさんがはりきってがんばったり、きれいなこえをだしたりしていたからすごいと思った。来年はみんなでじょうずにうたってきれいな音をみんなに聞かせてみんなをよろこばせたい。
(2年 森田 ましろさん)



ステージバック 8年 尾形 朝陽さん作

- ・1日目運動会の「ダンシングドラゴンボール」は、元気にすかしがらすにできてよかったです。なかよしはんりレーもがんばって走ってよかったです。さいご、校長先生が花火をしてくれたのでうれしかったです。2日目音楽会がありました。3年生の発表は、リハーサルの時みたいに上手にできたのでうれしかったです。とくにえんそうが上手にできてよかったです。もりあがる発表ができてよかったです。
(3年 清水 凜さん)
- ・音楽会がありました。9番目に出番が来ました。さいしょは、すかしかったけど、うまく歌えたいせりふもうまできました。リコーダーも木きんも上手にできたので、とてもうれしかったです。
(3年 安松 汰珠さん)
- ・音楽会で、やぎの発表をやったときに、やぎが鳴いてくれてうれしかったです。うまできましたし、歌も間違えなくて歌えてよかったです。
(3年 高橋 景さん)
- ・ゆうし発表で、手品がうまできてよ

- かったです。てんじ見学でいろんな作品がならべてありました。どれもすごかったです。2日目が終わった時「短いな。もう終わりかー」と思ったけど、また来年楽しみたいと思いました。
(3年 根本 一颯さん)
- ・わたしが、なしの木祭でがんばったことは、音楽会の、トランペットです。高いミの音が出なかったけど、高いシの音は出ました。運動会では、ダンス、リレー、おうえんだんをがんばりました。おうえんだんでは、大きな声でみんなのおうえんをしました。ダンシングドラゴンでは、ぜんぶまけちゃったけど、せいっぱいがんばれました。リレーでは、おもいきりはして1位になりました。だけとりの時も、おもいきり大声で、みんなのおうえんをしました。白組がまけちゃったけど、せいっぱいがんばれてよかったです。
(4年 後藤 天愛さん)



梨の木祭の運動会で6年生から4年生の10名の応援団が応援合戦で声を張り上げました。応援団は、この日のために3週間毎日放課後に集まり練習をしてきました。声や手の振りなどのタイミングを合わせたり、大きな声を出したり、自分たちで課題を見つけ、練習の方法を考えて、一丸となって取り組んできました。
(6年担任 志水 宏靖)

あんな9年生に… 来年は9年生のフォロー

係活動ではみんなが頑張っている中で、自分も頑張ろうと思いました。ステージバックや楽器移動でいろいろ覚えることや、やるが多かったけれど、任せられてることは信頼されてるということのような気がしてうれしかった。大縄跳

びなど学級活動に向かう中で、自分や仲間の成長した姿として「全員で〇回跳べた！」と素直に喜べたことがあります。9年生の発表や劇を見て、すごくスムーズに進められていたので、すごいと思いました。いつも9年生の動きを見て、私もあんな9年生になりたいと思いました。来年は私たちがジャンプ期になるから今の8年生をサポートできるようにしたいです。
(7年 高橋 春さん)

特に心に残ったことは、音楽会の歌声がよかったことです。また、話し合いをしながら実践を繰り返しやった大縄や歌声づくりがとてもよかったです。来年は8年生として9年生のフォローに入り、できるだけみんなが楽しめるように試行錯誤したいです。
(7年 細谷 祐斗さん)



《保育園・公民館の話題》

おいも、いっぱいとれたよ〜♪

雲ひとつない秋晴れの日、バスに乗って青具の宮沢雄一さんのお家にさつまいも掘りに行きました。コロナウイルスの流行でさつまいもを植えることができませんでしたが、宮沢さんが大事に育てて下さいました。つるを取り除いて下さっており、至れり尽くせりの子どもたちでした。土の中にしっかりと埋まっています、最初は「掘れな〜い」とくじけそうでしたが、手伝ってもらいながら頑張って掘りました。おいもが見えてくると、うれしくなって、気がつくともんこになっていました。立



派なさつまいもがたくさん掘れ、「早く食べたいなあ♥」とニコニコ顔でした。

帰り道は木の実を拾ったり、草花を摘んだりしながら、下まで歩いて行きました。林の中はとても気持ち良く、「遠足みたいだねえ。」と楽しそうな子どもたちでした。

おいしく焼けるかな ・・・焼きいも会

今年の焼きいも会は、親子教室と保育園の合同で10月9日に行いました。当日は雨予報でも心配をしていましたが何とか雨も降らずに開くことができました。

合同での開催で当日は約20人の親子が参加をして焼きいもを楽しみました、焼いたサツマイモは、池の平の宮沢雄一さんの畑で栽培をしていただいた「紅はるか」で9月20日に園児が自分たちで掘った芋を焼きました。焚火に投げ込むときには熱いのを我慢しながら「おいしく焼けて！」と投げ込んでいました。

今年は新型コロナ感染予防対策のためその場では食べずに家へ持ち帰って食べてもらいまし

た。外出もままならず行事もなかなか開けずにはいましたが、今回の焼きいも会が楽しい記憶となって参加者の方の中に残っていてくれることを願っています。（公民館 荒井）



囲碁、楽しいよ〜♪



年長児きりん組さんは、毎月2回、先生に囲碁を教してもらっています。保育園でやる囲碁は「ポン抜きゲーム」で、石を取り合うゲームです。自分の石を取られないように守りながら、相手の石を取ります。難しいけれど「どこに打てば勝てるかなあ」と、一生懸命考えて打ちます。

また、あすなろ保育園のお友だちと、郵便でやりとりする郵便囲碁もやっています。石が取れると大喜び。「郵便囲碁まだ届いてない？」と楽しみに待っているきりん組さんです。

広がっていく人脈、とれた花豆に感動！！

～花MAME株式会社 販売促進計画～

8月の下旬。夏休みがあけると、花豆畑に大きな実がなっていました。

ご協力のおかげもあって、サルの襲来に耐えた花豆畑。無事、苦難を乗り越えて大きな実をつけたことに感動しました。支所の川上さんは、いつも私たちの畑に気を配ってくれました。本当にありがとうございます。

中学生の1日の生活は忙しく、栽培に常に気をつかうことが難しいこと、これが来年への課題です。「栽培は待たなし！」ということを感じました。北澤さんには、雨の日にとっていい植物は1つもないよ、と教えていただきました。



大町民話の里づくりもんべの会

美麻の口碑伝説

～語り継ぐ郷土の心～



紅地蔵

口碑伝説「三」二重元の関のお話

むかし、二重地区元元の関に屋号「まるいち」の先代与右衛門という人がいた。田植え着を買いに行つた糸魚川からの帰り道、小谷村の来馬あたりを通りかかったとき、子供らが何やら囃し立てながら石地蔵を河原で引きずり回していた。

力持ちだった与右衛門さんは、「なんともつたいない。地蔵様を粗末にすると、罰が当たるだぞ。」と、もらい受け、荷の上に載せて帰りお祀りした。

この地蔵様は、願かけすると首から上の病気を治してくださり、お礼に紅殻を塗ってあげる事になった。御堂を立て大切に祀りしている。

紅殻（ベンガラ）＝オランダ語《インドのベンガル地方で産出したところから》赤色顔料の一。主成分は酸化鉄（Ⅲ）で、着色力が強い。塗料・油絵の具や、ガラス・金属の研磨剤などに用いる。また、その色から、漢字はべにがら。



りっぱな地蔵堂



紅を塗られた優しい顔のお地蔵様

《地域の話題》

今年の花豆の作柄



今年も13か所の圃場で、約千本の花豆を栽培しました。種まきから定植の頃は暖かく、初期の生育は順調でした。6月の下旬には花も咲き、今年の豊作を予感させていましたが

7月に入り雨が続き、成長も鈍り樹にも勢いがなくなって生い茂るような状態にはなりませんでした。

8月に入ってからは暑さがもどり大き目のサヤが目につくようになり少し、ホッとしましたが7月の天候不順が響いたのか豆は小粒でした。改めて、自然相手の難しさを痛感しました。おかげさまで、現在までに50kgを超える出荷をいただきました。

花豆は「JA大北ええっこの里、Acoop常盤店、いーすら大町特産館」で販売をしています。お買い物に行った際にはご覧ください。

引き続き花豆の栽培をしていただける方を募集しています。興味のある方はお問合せ下さい。

美麻地域づくり会議事務局（支所総務係内）
電話 29-2311

つながれ地域のお店⑦

美麻地区のお店をリレーで紹介します。

美麻オリザファーム

（二重地区、湯の海）

「美麻オリザファーム」では、主に山ウド、アスター（蝦夷菊）、夏野菜、花豆を栽培しています。冬は近所のお師匠に教わりながら、凍み大根の加工もしています。

農作業のかたわら自宅で農家民宿や、パンフレットなどの執筆や撮影、コンテンツ制作を夫婦で行っています。畑に行くより家で作業をしていることの方が多いかも？！

モンキー犬のミックス犬“てんてん”と散歩をしているのを見かけたら、ぜひ声をかけてくださいね。

住所 大町市美麻11044、駐車場の有無 3台



9月号記事の訂正とお詫び

前回発行をしました9月号の記事「青具に野菜直売所」の設置のについての広報をいたしました。紹介の中で設置場所について「青具信号機

東側の空地」と記載をしましたが。正しくは「青具信号機東側キャシーさん駐車場」です。

記事の掲載につきまして確認が不足しご迷惑や誤解を与えてしまいましたことお詫び申し上げます。（広報部会）

■ 編集・発行 美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻11810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・ 電子メール info@miasa.info